

健育会グループ29回目の敬老会が 開催されました

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



健育会グループの敬老の日の恒例イベントである「敬老会」が、9月15日の敬老の日に開催されました。今回も、各病院・施設の職員が趣向を凝らした催し物を行い、患者さんやご利用者達のご家族と楽しい時間を過ごしていただきました。

今年も健育会グループの病院の入院患者さん、施設のご利用者のご長寿をお祝いする「敬老会」が、開催されました。毎年恒例の同イベントで私が最も重視しているのは、普段あまりお見舞いに来られないご家族の方にできるだけ多くご参加いただくことです。患者さんやご利用者にとってご家族と一緒に過ごす時間は、何よりも大きな励ましになっていると思います。今年も職員が真心こめた様々な企画を用意し、患者さんやご利用者だけでなくご家族に対しても「愛情を持って親身な対応」を心掛けられたと思います

今年も敬老会大賞はお食事部門と演出部門に分けて選出いたしました。

敬老会大賞 お食事部門



石巻健育会病院

【選定理由】

「御祝い膳」の名にふさわしい豪華絢爛な献立です。新鮮な旬のネタの握り寿司や揚げたての天ぷらなど、患者さんへの「おもてなし」の心が伝わってきます。



ライフケアガーデン湘南

【選定理由】

松花堂弁当の美しい盛り付けと彩りに感動しました。お祝いの赤飯、旬の刺身や天ぷらをバランスよく配し、まさに入居者さんへの敬意が伝わる御膳です。



ひまわり在宅サポートグループ

【選定理由】

活気ある雰囲気の中、皆さんでテーブルを囲む楽しいひとときです。豪華なごちそうである特製のお寿司は、皆さんの笑顔を一層輝かせる最高の敬老御膳です。

敬老会大賞 演出部門



大泉学園複合施設

【選定理由】

迫力満点のお神輿で、会場は一気に活気あるお祭りムードに！熱意のこもった職員の演出が、患者さん・ご利用者の笑顔と元気を引き出しました。



しおさい

【選定理由】

技能実習生によるミャンマーの華やかな民族衣装をまとった優雅な踊りが、会場に国際色豊かな彩りを添え、ご利用者の心を和ませました。



ライフサポートひなた

【選定理由】

昔懐かしい「ご長寿クイズ」は大盛り上がり！参加型の工夫で、ご利用者が笑顔で積極的に手を挙げる活気ある楽しいひとときを演出しました。

竹川病院



今年度の病院祭は、午前の部：賀寿表彰式、午後の部：病棟イベントの2部構成で実施致しました。

午前の部では、80歳以上の患者さん（傘寿、米寿、卒寿、最長寿）15名が対象で、ご家族をお招きして式典を開催致しました。山崎院長・梶田副院長から対象者一人ずつ表彰させていただきましたが、笑顔の方、嬉し涙を流された方など様々な表情を見せていただき、また、その様子をご家族が嬉しそうに写真を撮られていた姿がとても印象的でした。職員から歌のイベントを提供させていただいた際は、自然発生的に患者さん・ご家族が歌唱しだし、踊りのイベントでは手拍子が響はじめ、終始一体感のある式典となりました。お帰りの際、記念写真の撮影を用意しておりましたが、ご家族は『ここまでしてくれたありがとうございます』と感激されていました。



昼食は、栄養科手作りの特製弁当を患者さんに召し上がっていただきました。普段完食されていない患者さんも完食したと病棟職員から聞き、喜んでいただいたことが伺えました。

また、同時間帯でお神輿の練り歩きも披露。患者さんから掛け声と活気をいただきました。

午後の部では、賀寿表彰以外の患者さんを対象に病棟イベントを開催。リハビリ職員から、毎年恒例となっているハンドベルと、もはや竹川病院の伝統舞踊となっているソーラン節を披露しました。各病棟所属の職員が披露したということもあり、患者さんだけでなく、イベントを楽しみに来院されたご家族も親近感を持って楽しまれていました。賀寿表彰対象の患者さんより若い患者さんがいたからか、一緒に踊っていただいた患者さんもいらっしやりと、午前同様大いに楽しんでいただけたようです。

熱川温泉病院



今年は昨年に引き続きご家族をご招待して、病棟で「ご家族団らん昼食会」、1階ロビーでの「抹茶カフェ」「地場産品福引大会」と歌や踊りのイベントを観覧頂く形で開催することができました。病棟での昼食会は『お祝い御膳』を用意しました。メニューは「お赤飯、地魚の刺身三点盛り、ヒレカツ、金目鯛の漬け焼き、生フルーツ」。栄養科職員が心を込めて用意した料理を、患者さん・ご家族が美味しそうに召し上がっていました。またイベントでは、まず保育所児童による『おんせんたまご少年少女合唱団～やなせたかしワールド～』。絵本「やさしいライオン」の朗読と「手にひらを太陽に」「アンパンマンのマーチ」を合唱してくれました。続いて104歳を筆頭に90歳以上29名の方を対象にご長寿表彰式を行いました。さらに『REI マカ・ロア 祝賀のフラ』、職員による出し物『リハ職員4名によるリハビリ体操～「365歩のマーチ」「BTS Dynamite」～』と続き、最後は地元で活動されているウクレレ&オカリナグループ『hano hano（ハノハノ）』の皆さんが「パーリーシェルズ」「バラが咲いた」など5曲を演奏してくれました。ウクレレとオカリナの演奏にのせて6名の皆さんの大きな歌声が会場に皆さんに伝わり大変盛り上がりました。来年も職員一同で患者さんやご家族の皆さんが楽しんで頂けるような病院祭を開催していきたいと思っております。



今年の敬老会は、ご家族の皆さんと一緒に、祝賀の式典を執り行いました。

ご長寿の祝賀は、最高齢99歳の患者さんを筆頭に、白寿から傘寿までの節目のお祝いの患者さん計24名を、皆さんの代表として表彰させて頂きました。病院長より、ご長寿の患者さんに表彰状を授与。あわせて院内保育園の園児手作りのお祝いメダルと記念品を贈呈しました。複数のご家族からも祝辞とお便りを頂戴し、職員が代読してご紹介。最後に、表彰者代表の方から立派な御礼の言葉を頂戴しました。終始和やかな雰囲気の中、ご家族とも一緒にご長寿のお祝いを開催することができました。

また、催し物として、保育園の園児たちからのお祝いのダンスと、病院職員有志一同による「はねこ踊り」の演舞を披露させていただきました。

園児たちの可愛いダンスに患者さんの顔も自然とほころび、はねこ踊りの華やかな舞いと熱気に魅了され、患者さんと職員が一緒になって、大きな拍手を送りました。今年はさらにアトラクションとして石巻市立青葉中学校吹奏楽部の生徒さんにご協力いただき、ご長寿の皆さんの心に残る素敵な合唱で催しに華を添えていただきました。体調のご都合で式典に出席できなかった患者さんには、病院長と看護部長が病室を個別に訪問して、お一人ずつ表彰させて頂きました。

昼食は、当院栄養科が技と真心を込めた特製「お祝膳」の、にぎり寿司、いくらおろし、天麩羅盛り合わせ、茶碗蒸し、すまし汁、デザートを提供させて頂きました。笑顔で召し上がる様子から、ご満足頂けたものと思います。

午後は、外部ボランティアの方々が各病棟に赴いて、「ひよっこ踊り」をご披露いただきました。煌びやかな衣装とひよっこのお面というアンバランスないでたちの踊り手さんが、滑稽なしぐさで患者さん一人一人と交流して頂き、大笑いする方、思わず涙する方ごももの、温かく楽しい時間を過ごすことができました。

なお、今年度も式典会場より各病棟へLIVE中継を行いましたので、参加出来なかった患者さんにも楽しんで頂けたものと感じております。また、会場における患者さんの記念撮影については、マスクなしとさせて頂きました。



9月15日、例年は盛大に開催するところですが、開催場所の花川南コミュニティーセンターが工事のため、院内でささやかですが「敬老の日」のお祝いをしました。今年は最高年齢100歳の方を筆頭に99歳、98歳、96歳と男性1名、女性4名が表彰されました。ご家族も息子さん、娘さん、お孫さん、玄孫さんと大勢ご参加いただき、看護師長の音頭で始まった授賞式は、お祝いを楽しみに集まる患者さんでいっぱいとなりました。花束と記念品の贈呈後、記念写真撮影会。年に1度しかない貴重なひと時を大切なご家族と過ごしお祝いすることができました。昼食は、「特製海鮮ちらし・きのこの味噌汁・茶碗蒸し・紅白大根の酢の物・さつま芋おはぎ」初物の「いくら、美味しい」と秋の味覚で心もお腹も満たされました。

10月10日はいよいよ感謝祭本番です。今日いただいた笑顔とパワーを糧に職員一同ワクワク準備を始めていきます。



今年は、病院内にあるガーデンで職員によるかき氷・綿あめ・ドリンク提供を行い、ご家族と共に楽しんでいただきました。少量ですがアルコール提供もでき、普段は笑わない患者さんが笑顔になるなど見られ、担当職員が感動している姿が印象的でした。

射的、ヨーヨー釣りでは、真剣にとり組まれ普段のリハビリ成果を存分に発揮されていました。今年は初の試みとして、TQM活動と学生ボランティア共同開催のメイク&ハンドセラピーコーナーを出店。たくさんの患者さん、ご利用者がメイクを施し笑顔でお写真を撮られていました。

毎年恒例の職員による「ねりけんBAND」の演奏会を午前2回、午後2回開催しました。ギター（看護師）、ベース（作業療法士）、キーボード（薬剤師）、ドラム（放射線技師）、ボーカル（医師）

による他職種からなるメンバー構成とMC（理学療法士）で会場を盛大に盛り上がりました。アンコールが鳴りやまないほどの大盛況でした。インスタライブも配信したことで入院・入所されている方たち以外にも楽しめるものになりました。

敬老の式典では、米寿11名、卒寿8名、白寿2名、百一賀1名、百三賀1名の計23名の方にご長寿の表彰と記念品の贈答を行いました。地域貢献活動として病院側駐車場を開放し、野菜直売所・地ワイン販売・和菓子販売・キッチンカー3台を招致。また就労支援B型施設による菓子販売、職員による健康相談ブース、スーパーボールすくい、輪投げを実施しました。

地域住民の方が45名以上参加して下さり、幅広い世代の方が集まるイベントとなりました。地域住民の方より、当施設がどんな役割の施設なのかなどのご質問もあり、認知度の向上にも繋がりました。また職員による健康相談には退院された方や外来患者さん・デイケアのご利用者も参加して下さり、元気になられた姿を見せに職員を訪ねてくださる方もいらっしゃいました。

石川島記念病院



今年は、佃という祭り好きな土地柄、町会、佃中学校の協力のもと、「地元の祭り」の雰囲気を前面に出したイベントを企画しました。はじめに米寿を迎える患者さん2名、90歳以上の患者さん12名に長寿の表彰を行いました。表彰された患者さんひとりひとりに質問をする即席コーナーをもうけ、表彰式がプロ野球のヒーローインタビューさながらの盛り上がりとなりました。

その後は、プロマジシャンによるマジックショーはこの日一番の盛り上がりを見せ、患者さん参加型の手品では私たち職員も含め身を乗り出してショーを楽しみました。

中間テスト時期のため直接の来院できませんでしたが、佃中学校和太鼓部による演奏の様子をビデオ上映。力強い太鼓の響きに、患者さんもくぎ付けとなりました。

最後に住吉神社の祭りで実際に使用される手ぬぐい（町会より提供）を参加者全員にプレゼント。大いに喜ばれました。

短い時間ながらも地域に根差した出し物を盛り込み、マジックショーも好評に終わり、患者さんの笑顔あふれるイベントとなりました。

ライフケアガーデン熱川



今年は、ライフケアガーデン熱川本館・別館・通所同時進行で敬老会を開催しました。本年度は本館3名、別館7名、通所4名のご入居者の長寿(米寿・卒寿・白寿・101歳)のお祝いをさせていただきました。

日頃の感謝を込めて職員による余興はヒゲダンス・二人羽織・ジャンボリーミッキーを披露しました。また、地元ボランティアとして下田婦人会花みずきによる日本舞踊、下田高校吹奏楽部による演奏並びに熱川温泉病院保育所園児によるお遊戯を披露頂きました。本館でのヒゲダンスにはご入居者も参加して頂き、失敗した時は落胆の声が上がり成功すると盛大な拍手が湧くなど職員とご入居者・ご家族が一体となって笑顔が溢れ会場は暖かい雰囲気になっていました。別館でも二人羽織で生クリーム増し増しの

シュークリームを口に運ぶと見せかけて顔中に生クリーム付け、会場にいる誰もが手を叩いて笑っていました。下田高校吹奏楽部は22名の生徒が駆けつけてくださり本館、別館で演奏して頂きました。吹奏楽の音色に涙する人もおり、昔を思い出しているご様子でした。吹奏楽の演奏をバックに多和田ホーム長から長寿の方々への表彰させていただきました。

来訪されたご家族からは、「素晴らしいお食事にビックリしました。」「暖かいおもてなしで私たちも楽しい時間を過ごせました。」「職員の方々の一生懸命な姿をみて感動しました。」などこちらが日頃の感謝を込めて敬老会を開催しましたが、多くのご家族の方々より感謝のお言葉を頂戴することができました。

ご入居者とご家族の心を豊かに出来たのではないかと実感した一日でした。ご入居者、ご家族もそうですが職員にとっても素晴らしい一日だったと思います。全ての皆さんに感謝いたします。

なお、通所では9月15日・16日の2日間にわたって敬老会を開催、9月15日には22名のご利用者に参加いただき、職員によるマツケンサンパショー・サクソ演奏などの余興で盛り上がりを見せていました。お帰りの際にお祝い品(お菓子など)をお渡ししましたが、皆さんより「今日は良い日に来た。楽しかった。」とお言葉を頂戴しました。

ライフケアガーデン湘南



今年のテーマは「笑福」。

「笑う門には福来る」という言葉があるように、笑顔には幸せを運んでくれる力があると言われています。笑顔は体の免疫力を高めたり、ストレスを和らげたりする効果があるとされており、皆さんにはこれからも笑顔を絶やさず、健やかに過ごしていただきたいと願って企画しました。

当日は、長寿を迎えられた24名のご入居者が表彰されました。また、ご家族からは16組22名の皆さんがご参加くださり、多くの笑顔と温かな拍手に包まれました。直接お会いし、日頃の看護や介護の様子を知っていただくことで、ご安心いただける機会にもなったことと思います。

祝賀会の余興では、職員による「ハイ、よろこんで七福神」が披露されました。今年は七福神に扮した職員が、皆さんのご健康とご多幸を願い、心を込めて踊りをお届けしました。衣装や小物はすべて職員の手作りで、一体一体に工夫と愛情が込められており、観客の皆さんからは大きな笑顔と拍手が寄せられました。

さらに、地域を代表して湘風会の皆さんによる三味線の演奏も行われ、会場は力強くも美しい音色に包まれました。伝統的な響きに耳を傾けながら、心安らぐひとときをお楽しみいただけたようです。

笑顔と感謝にあふれた敬老祝賀会。当ホームでは、これからもご入居者とご家族が安心して過ごせる環境を大切に、笑顔あふれる日々をお届けしてまいります。





本年度の敬老会は、【つながり】をテーマに、ご利用者とそのご家族の皆さんが心を通わせることができる一日となるよう、午前中は各階での催し、午後は祝賀式典を開催いたしました。

午前の催しでは、各階に喫茶コーナーを開設し、ご利用者にはお好みの飲み物やケーキを楽しんでいただきました。2階・3階では、喫茶と並行してカラオケや「あそびりテーション」を実施し、ご利用者のご家族が穏やかな時間を過ごされました。職員の盛り上げに笑い声が響く場面もあり、笑顔があふれるひとときとなりました。1階には記念撮影用のフォトスポットを設置し、遠方からお越しくださったご家族と久しぶりに対面されたご利用者が、嬉しそうに写真撮影を楽しまれる姿も見受けられました。

お昼には、栄養科特製の「お祝い御膳」（刺身、天ぷら、赤飯、すまし汁、果物の盛り合わせ）を提供いたしました。皆さん笑顔で召し上がっておられ、大変ご満足いただけた様子でした。

午後の祝賀式典では、入所・短期入所ご利用者50名、通所ご利用者38名のお祝いを行いました。来設された10名のご家族は、ご利用者の隣に座って式典にご参加くださり、あたたかな雰囲気の中で進行しました。式典では、百三賀を筆頭に、合計12名のご長寿の方々を表彰させていただきました。

さらに、サプライズとして、同町および隣町の首長からの祝辞メッセージ、同町こども園の園児たちによる歌と踊りの映像を上映いたしました。ご利用者は驚いた様子で、真剣な表情で映像に見入っておられました。また、複数のご家族より寄せられたお祝いのメッセージやお手紙は、職員が代読してご紹介しました。ご利用者だけでなく、職員も感動し、あたたかな空気に包まれた時間となりました。

余興では、技能実習生によるミャンマーの伝統舞踊、そして職員によるチンドン屋に扮した衣装での4曲のダンスを披露しました。会場には大きな笑い声があふれ、ご家族の皆さんからも自然と笑みがこぼれ、楽しいひとときを共有することができました。式典の最後には、ご利用者・ご家族・職員全員で『上を向いて歩こう』を合唱しました。歌声は小さくとも、全員の心がひとつになった瞬間に、今回のテーマである【つながり】をしっかりと感じることができました。



ケアポート板橋



厨房職員が腕に縫いをかけ、松茸ご飯や天ぷらをはじめ豪華敬老会御膳を皮切りに、祝賀会を執り行いました。節目の方は総勢26名。最高齢はなんと105歳。「笑顔の1枚」を額に入れ込み、プレゼントと共にお渡しさせて頂きました。

余興のトロンボーン三重奏では、「笑点」のテーマから季節を感じさせて下さる「里の秋」など、笑い・感動を味わう時間が流れ、フィナーレは三線に合わせカチューシー（祝議歌）を皆で踊り、ご家族とともに笑顔あふれる敬老祝賀会となりました。おやつケーキバイキングを食べながらご家族や職員とゆっくり話す時間は、何にも代えがたいプレゼントとなりました。

グループホーム かもめの家



一階のダイニングをメイン会場として、敬老祝賀会を執り行いました。

始まりは町会のお神輿を迎え入れ、ご利用者、ご家族とお祭り気分
に酔いしれました。式典では節目のご利用者3名の表彰、また、ご
利用者へ記念品として「高級和菓子」をプレゼント授与させていた
だき、大変喜ばれておりました。式典後はご家族と団欒する時間を
設け、ゆっくりと家族水入らずの時間を大切に過ごしていただき、
非常に穏やかな時間が流れておりました。その後、サクソ演奏ボ
ランティアさんの歌謡曲や懐メロのプレゼント、職員と共いうたい
、笑顔溢れる会となりました。

食のプレゼントとしては、昼食時に今半のりんどう弁当、おやつに
は栗あんプリンに舌鼓をうち、華やかさと美味しさに皆さん満面の
笑みを浮かべておられました。小規模ではありましたが、穏やかな温かい敬老会となりました。



ケアセンター けやき



入居フロアでは2階に集まり式典を行い、7名の節目の方の表彰を行いました。100歳以上のお祝いの方が3名おりましたが、皆さん
目をしっかりと開き表彰されると嬉しそうにされておりました。その後、入居されている方の知り合いによるコンサートを開催しま
した。コンサートでは歌手による歌の披露や、脳トレタイム、懐かしの音楽演奏などを楽しみ、拍手が鳴りやまずアンコールにも
こたえて頂き楽しい時間を過ごす事ができました。また、着ぐるみのキャラクターも登場し、写真撮影を希望される方が多くいま
した。その後は各フロアに戻られ、シャンパンで乾杯し、お祝い御膳をご家族とともに召し上がられました。久しぶりのご家族との
お食事を楽しみ、笑顔で過ごされております。

通所リハビリでは31名の節目の方がおられ、式典では8名、他利用時間帯では7名の方々をお祝いしました。式典に参加された方
には、「本日はお声がけ下さりありがとうございます。とても嬉しいです。」とこの日の為にいつもとは違うシックなお洋服でお越
しになり、少し緊張されている様子もうかがえました。また節目を迎えられたお一方より「演歌」のご披露頂き素晴らしい歌声に皆
さん「凄い！」と感動されていらっしゃいました。お食事では、参加者全員が「美味しい、美味しい」「多いと思ったけれど食べ
ちゃいました」と素敵な笑顔が溢れる時間でした。

デイサービスでも式典を行い7名の節目の方を表彰し、その際初来所の方も節目でしたので表彰すると、本人はとても驚いておりま
したが感謝いたしますとお言葉をもらえました。その後板橋区で活躍されている「演歌のえっちゃん」をお呼びして、歌謡曲を皆
さんの前で歌っていただき、生ギター演奏の曲を前に喜んでいただきました。

夕食時には桜川2丁目町会在住の75歳以上の方向けに開催した敬老会けんいく食堂に6名の方が来所され、約一時間半、お食事と談
笑、トルト、カラオケなどをして過ごしました。「お食事が美味しい!」「いつも一人で食事をしているので、みんなで食べられる
と美味しいし、嬉しいです」「近くに住んでいるけれど初めて入った、とても広くてきれいですね」「運動に通っているけれど、
歩行検査をしていただいておりますのでお勧めの体操をしてみたいと思います」「要介護認定を受けなくても元気であることが出来るよう頑張
っている、この様な集まりがあると良いと思いました」等のお話を頂きました。



ひまわりデイサービスでは、日頃の感謝の気持ちを込めて職員一同が心を込めて準備を進め、9月13日に「ひまわりデイサービスセンター敬老感謝祭」が開催されました。

まずは、白寿・米寿などの記念歳を迎えられた方々への表彰式を行い、記念品と表彰状を贈呈しました。長年にわたり地域やご家庭を支えてこられた皆さんの歩みに敬意を表し、会場からは温かな拍手が送られました。

続いて、懐かしの昭和歌謡を歌うシンガーの方をお招きし、「365歩のマーチ」「上を向いて歩こう」などの名曲を披露していただきました。ご利用者の皆さんは自然と口ずさみ、手拍子をしながら楽しまれており、音楽の力で会場がひとつになりました。

さらに、地域の獅子舞保存会による獅子舞の披露があり、迫力ある舞に会場は大盛り上がり。獅子が皆さんの頭を噛んで回る場面では、



笑顔と歓声が絶えず、無病息災を願う気持ちがひとつになりました。

そして、近隣の保育園から園児たちが訪れ、元気いっぱいの歌と踊りを披露してくれました。小さな子どもたちの姿に、利用者の皆さんは目を細め、まるで家族のような温かな交流が生まれました。

今回の敬老感謝祭は、世代を超えたふれあいと、地域とのつながりを感じる素晴らしい時間となりました。今後も、皆さんが安心して笑顔で過ごせるよう、心を込めたサービスを提供してまいります。

ひまわり在宅サポートグループ ナースインひまわり



ナースインホームひまわりでは、9月15日に敬老会を開催いたしました。日頃よりご利用いただいている皆さんに感謝を申し上げるとともに、これまでのご長寿とご健康をお祝いする大切な行事として、職員一同、心を込めて準備いたしました。

まず会の冒頭では、今年記念歳を迎えられたご利用者の表彰を行いました。ご本人に記念品をお渡しすると、照れながらも嬉しそうに笑顔を見せられ、会場は温かい拍手と祝福の言葉に包まれました。ご家族からも「こうして節目を祝っていただけるのは本当にありがたい」とのお声をいただき、改めて地域と共に歩む看護小規模多機能の役割を感じる場面となりました。

続いて、地域の民謡ボランティアの皆さんによる踊りの披露が行われました。華やかな衣装と力強い踊りに、自然と手拍子や掛け

声があがり、会場は一気に明るい雰囲気になりました。中には昔を思い出し、一緒に口ずさむ方や体を揺らして楽しむ方もおられ、皆さんが心から楽しんでいる様子が印象的でした。

また、看護小規模多機能の特性を活かし、通い・泊りのご利用の方は日中に、訪問中の方へは職員が記念品をお届けするなど、お一人おひとりがそれぞれの形で敬老会に参加できるよう工夫しました。普段はなかなか一堂に会する機会が少ない中、こうして「同じ時間を共有し、お祝いする」ことが、ご利用者の喜びや安心につながったと感じております。

今回の敬老会は、ご利用者の笑顔と、地域の皆さんとの交流によって、改めて「人と人とのつながり」の大切さを実感できる機会となりました。これからもご利用者が安心して暮らし続けられるよう、医療・介護・生活支援を一体的に提供しながら、心温まる時間を大切にしていまいります。



快晴の青空が広がり、北海道としては少し暑さを感じる一日となった敬老の日に敬老会を開催しました。昼食前には、施設の畑で育てた赤しそを使った鮮やかなピンク色のジュースが振る舞われ、爽やかな味わいに多くの方から好評をいただきました。

昼食には、敬老の日を祝うために調理職員一同が心を込めてご用意した特別なお祝い膳が並びました。大ぶりの海老や旬の海の幸、彩り豊かな野菜や果物を盛り合わせたお料理は目にも鮮やかで、皆さん「きれいだね」「おいしいね」と笑顔を交わしながら、和やかなひとときを楽しまれました。

食後のイベントからは、約30組・50名弱のご家族にもご参加いただき、にぎやかさが一層増しました。最初に生駒理事長よりお祝いのご挨拶があり、ご利用者・ご家族の皆さんが真剣に耳を傾けていました。その後、職員有志による「ツルカメ音頭」が披露され、軽快なリズムに手拍子を合わせて楽しめるご利用者の姿も見られました。

続いて花川南中学校吹奏楽部による演奏では、懐かしい楽曲に合わせて自然に口ずさむ方の姿も見られ、民謡ボランティアによる披露ではリズムに合わせて踊り出すご利用者もおられました。さらに、職員有志によるYOSAKOI演舞では力強い掛け声と躍動感あふれる踊りに大きな拍手が送られました。

恒例の長寿のお祝いと笑顔フォトコンテスト表彰では、受賞者の皆さんに記念品が贈られ、喜びに満ちた表情がとても印象的でした。

また、棟の移動が難しい方にはZoom中継を行い、離れた場所からもイベントをお楽しみいただきました。ご利用者・ご家族・ボランティアの皆さんが一体となり、笑顔と温かい拍手に包まれた心に残る一日となりました。

介護老人保健施設 しおん



今年のご長寿表彰の方が入所で30名、通所で17名いらっしゃいました。最高齢は元気な105歳の方。表彰式は各ユニットを巡り表彰状と記念品を授与させていただいた後、ご家族と一緒に記念撮影。表彰されるご利用者は満面の笑顔で喜ばれ、感極まって涙を流される方で心温まるひとときとなりました。

お祝い膳メニューは「お赤飯、刺身、錦秋あんかけ、盛り合わせ2種、和風パフェ、清汁」と豪華な内容に「わぁ、美味しそう！」と歓声が上がったかと思う次の瞬間には皆さん食べるのに夢中で静まり返るほどでした。ご家族には海鮮丼を提供させていただき、家族水入らずで楽しんでいる様子が微笑ましい温かい時間となりました。

午後からは外に出て江鳴会さんによる迫力満点の和太鼓が披露され

ると近隣住民の方も「観ても良いですか～」と参加。大地を揺るがすような和太鼓の音が全身に響き、生命の鼓動を感じました。

職員によるよさこいでは急遽太鼓をお貸しいただき、太鼓とコラボの豪華な演舞になりました。ひょっとこのお面をつけて踊る職員もいて終始大盛り上がりでした。

そしてアロマ体験会ではアロマの香りに包まれながら、ご利用者とご家族が癒しの時間を共に過ごされました。午前・午後の二部制で開催した体験会には、事前予約・当日申込あわせて19名が参加され、施術の心地よさに思わずうっとり。ご家族が同じ空間で喜びを分かち合うことで、心に残る温かなひとときとなりました。

今年が入所・通所の皆様が一緒に集い、笑顔と交流が広がる中で、心がひとつになるような一体感が生まれました。活気にあふれ、心に残る楽しい一日となりました。

介護老人保健施設ライフサポートひなた



今年の敬老会は、ご家族の皆さんと一緒に、祝賀の式典、お祝い膳、祝賀の催しを執り行いました。

昼食は季節の食材を取り入れた祝い膳を提供し、テーブルでは笑顔と会話が弾みました。

14時からの本編は職員の軽快な進行で、演奏・コント・クイズと多彩なプログラムを展開。手拍子や笑い声が絶えず、クイズでは積極的な挙手も見られるなど、終始にぎやかな雰囲気でした。続いて祝い年の方の表彰を行い、これまでの歩みに敬意を表して全員で拍手を送りました。

終了後は祝歳の方の記念撮影を実施し、スタッフの誘導のもと落ち着いて進行。大きなトラブルもなく、予定通りに終了しました。

参加者からは「楽しかった」「食事が美味しかった」などの声が寄せられ、満面の笑顔があふれ、満足度の高い催しとなりました。

